

答申第694号

1 再検討の求めに至る経緯

視聴者より、「3か年の基本方針」の達成状況を測る世論調査の結果について「事実と異なる虚偽の報告がされている」として、「① 26年度第4四半期業務報告の作成目的並びに公表目的が分かる文書、② 『24年度から26年度の3か年で、多くの指標において期待度が高まり、実現度がそれよりも増加することで、期待度と実現度の差が縮小しました』（平成27年4月28日経営委員会議事録より）について、i このような説明をしながら、各年代間、男女間や『期待している』と『実現している』の数値の集計分析を実施しない合理的な理由が分かる文書、ii 3か年の総括として『高まった事実がないにもかかわらず虚偽の公表や説明を行った』経緯が分かる文書、③『経営14指標の期待・実現差の平均値は24年1月の14.6から、27年1月の14.2に改善した』（「平成24～26年度経営計画3か年の総括」より）について、有意差がない統計的数値を用いてその差が『改善した』と公表した経緯が分かる文書、④『全般的に、『公共』と『創造・未来』に関連する経営指標が改善傾向にある』（「平成24～26年度経営計画3か年の総括」より）について、i 『公共』と『創造・未来』の関連が分かる文書、ii 『改善傾向にないにもかかわらず、虚偽記載した』経緯が分かる文書、⑤『個別指標では、『公平・公正』、『社会的課題の共有』、『さまざまなメディアでの情報提供』の期待・実現差が統計的に改善した』（「平成24～26年度経営計画3か年の総括」より）について、期待度が減少した結果、その差が改善したように見える結果を『改善した』とすることは『虚偽表示』であるとして、i 『虚偽記載』した経緯が分かる文書、ii 期待値と実現値の差を経営評価数値として用いた経緯が分かる文書、iii 『期待している』と『どちらかという期待している』を同じ『期待』として合算し、公表した経緯が分かる文書、⑦『1. 安全・安心情報のいっそうの充実』『2. 正確で迅速なニュース・情報の提供、地域からの発信の強化』『3. 心と暮らしを豊かにするNHKならではの質の高いコンテンツの提供』『4. 人と人をつなぐ、“公共情報空間”の提供』『5. 放送と通信が連携した新しい視聴体験の提供』（平成25年度インターネットサービス基本計画より）は『3か年の基本方針』の達成状況を測る世論調査の14指標のどの指標と対応しているかが分かる文書」の開示の求めがあった。

NHKは、①、④のiおよび⑤のiiは開示したが、②、③、④のii、⑤のiおよびiii、⑦は文書が存在しないため、開示することができないとした。

これに対して、視聴者から再検討の求めがあった。

2 NHKの見解の要旨

再検討の求めの文書はいずれも存在せず開示することができない。

3 審議委員会の判断

再検討の求めの文書はいずれも存在しないと認められ、不開示としたNHKの取り扱いは妥当である。

4 審議の経過

平成28年3月22日（第236回審議委員会）

第709号諮問、審議、答申